

平成 27 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ジェイホールディングス
代表者名 代表取締役社長 澤畑 輝彦
(コード：2721、東証ジャスダック)
問合せ先 取締役 高木 宏
(TEL. 03-6430-3461)

特別損失の計上及び通期個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 11 月 11 日開催の取締役会において、当第 3 四半期決算において下記のとおり特別損失を計上することを決議するとともに、最近の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 2 月 17 日の平成 26 年 12 月期通期決算短信発表時にお知らせいたしました平成 27 年 12 月期（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）の通期個別業績予想を修正することといたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

なお、平成 27 年 9 月 1 日に開示いたしました通期連結業績予想につきましては変更ありません。

記

1. 特別損失の内容

<固定資産の減損損失>

平成 27 年 12 月期第 3 四半期決算において、当社の本社資産（供用資産）の将来の回収可能性を検討した結果、減損損失 3,785 千円を計上することといたしました。また、当社の連結子会社であり、「住宅事業」を展開する株式会社イザットハウスにおいて、事業用資産に対する減損損失 120 千円を計上することといたしました。

その結果、当第 3 四半期累計期間における当社の個別決算において特別損失として減損損失 3,785 千円を計上するとともに、連結決算においては特別損失として減損損失 3,906 千円を計上することとなりました。

2. 子会社からの経営指導料収入の中断について

<経営指導料>

当社は持株会社であり、グループ全体の経営戦略策定機能及び管理部門等の間接業務機能の対価として、各連結子会社より経営指導料を徴収しております。当社では当該経営指導料収入を、当社の個別決算において売上高に計上しております。

なお、当第 3 四半期連結累計期間においては、「住宅事業」「スポーツ事業」「不動産事業」「Web 事業」のいずれのセグメントにおいても、営業収支の黒字化を達成する見込みですが、過去に計上しました連結子会社に対する既存債権の回収は遅延している状況にあります。そこで、監査法人とも協議の結果、下期以降（平成 27 年 7 月 1 日以降）の当社の経営指導料売上高の計

上については、既存債権の回収が進むまでは保守的に計上を見送る会計処理を採用することといたしました。

当初個別業績予想に織り込んでいた下期の経営指導料売上高の計上を見送ることとした結果、当社の個別業績予想を修正するものであります。

なお、当社連結子会社との取引であるため、連結業績予想に影響はありません。

3. 業績予想の修正

個別業績予想の修正（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	89	7	7	4.1
今回修正予想 (B)	45	△42	△46	△25.4
増減額 (B-A)	△44	△49	△53	△29.5
増減率 (%)	△49.4	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月期)	91	△193	△323	△185.5

(注 1) 当社は、平成 27 年 9 月 28 日に第 1 回新株予約権の行使により、普通株式 36,000 株を発行しております。上記の個別業績予想に記載の 1 株当たり当期純利益は、当該新株予約権の行使による普通株式の増加を加味して算出しております。

(注 2) 上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上